

MVE (ウォッシュャブルエジェクタ)

圧力多段型取扱説明書

この度は、MVE (ウォッシュャブルエジェクタ) 圧力多段型をお買い上げいただきありがとうございます。今後ともよろしくご愛顧の程お願い申し上げます。ご使用前に取扱説明書を必ずご一読ください。又、本書は大切に保管してください。

- ここに記した注意事項は、当社製品を安全に正しくお使いいただき、人身への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は、取り扱いを誤った場合に生じる人身への危害や財産への損害の大きさと切迫の程度を表示するために、「危険」「警告」「注意」の三つに区分されています。
- いずれも安全に関する重要な内容ですから、必ず守って下さい。

- ⚠ 危険:** 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。
 - ⚠ 警告:** 取り扱いを誤った場合、人が死亡または重傷を負う危険が生じることが想定される場合。
 - ⚠ 注意:** 取り扱いを誤った場合、人が障害を負う危険が生じることが想定される場合。
- および物的損害のみの発生が想定される場合。

使用上の注意

- ⚠ 危険**
 - 爆発性雰囲気のある場所では使用しないでください。
- ⚠ 警告**
 - 停電や空気圧源のトラブルによる真空圧力の低下に伴う事故に対する安全設計を施してください。真空圧力が低下し真空パッドが吸着力を失うと、搬送中のワークが落下し人体や機械装置に損傷を招く危険性がありますので、落下防止の機構を設けるなどの安全対策を施してください。
 - 清浄な空気をご使用ください。圧縮空気中に腐食性ガス、化学薬品や塩分などが含まれていると、破損やエアリークの原因となりますので、使用しないでください。
 - 腐食性ガス、化学薬品、海水の雰囲気 又は、付着する場所では使用しないでください。

- ⚠ 注意**
 - 接続する継手は漏れが無いように確実に接続してください。
 - 圧縮空気供給側にはエアフィルタを取り付けてください。エアフィルタには、ろ過度5μm以下のものを使用してください。
 - 1台のエジェクタに2個以上の吸込み口を設ける場合は、1個の吸込み口からワークが離脱すると他の吸込み口からも離脱する場合があります。(1個の吸込み口からワークが離脱することで吸引能力が低下し、他の吸込み口からもワークが離脱します)
 - エアドライヤを設置してください。ドレンを多量に含んだ圧縮空気は、真空機器の性能低下の原因となります。エアドライヤを設置して湿度を下げ、ドレンの発生を減少させてください。
 - スラッジ対策を施してください。空気圧機器にコンプレッサオイルの劣化物(スラッジ)が混入すると、性能低下の原因となります。スラッジフィルタやミストクリーナを設置して、機器にスラッジが流入することを防止してください。
 - 無給油で使用してください。エジェクタに供給する空気に、エアブリケータを用いて給油すると、エジェクタのノズルに油が付着し、性能低下の原因になります。
 - 低温下での使用について。5℃以下で使用する場合、圧縮空気中のドレン、水分などが固体化または凍結しないように、エアドライヤを設置するなどの対策を施してください。
 - 空気の質 ISO8573-1:2010(JIS B 8392-1:2012)による圧縮空気品質等級に準拠した空気を使用してください。品質等級: 固体粒子等級: 2、水分等級: 6、オイル(油分)等級: 3相当としてください。

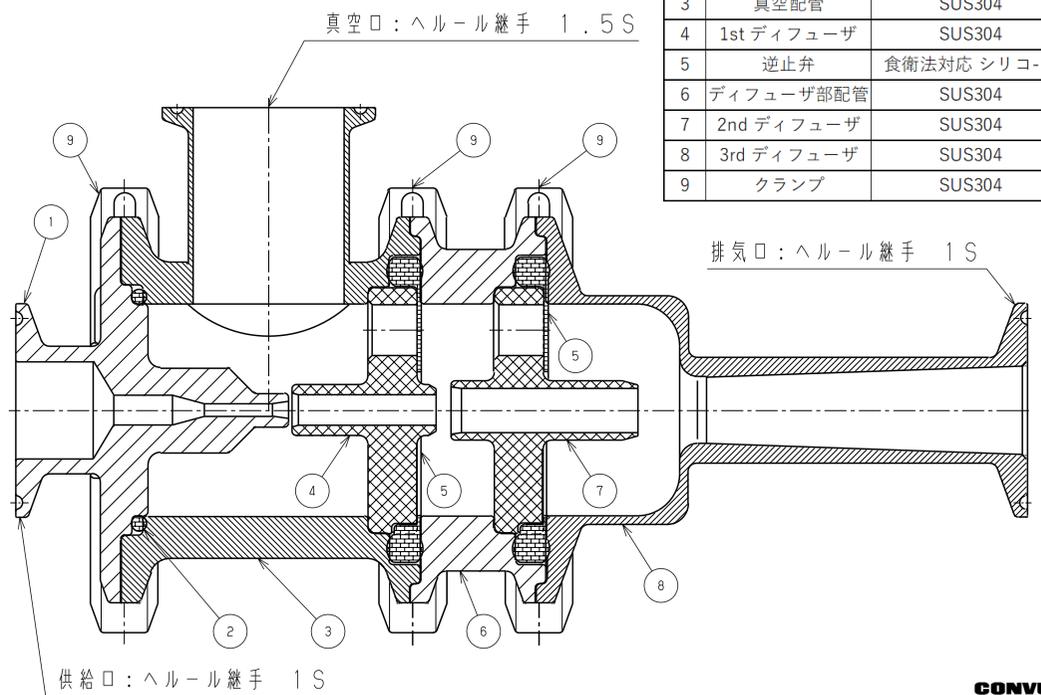
- 取付け**
- ⚠ 警告**
 - 固定部や連結部がゆるまない様な取付けをしてください。取付けが不十分だとエジェクタが外れ、怪我や機器が損傷することがあります。
 - 機器が適正に作動することを確認するまで、エジェクタ内に圧縮空気を供給しないでください。取付け後、圧縮空気や電源を接続して適正な機能検査および漏れ検査を行い、正しく取り付けられ、安全かつ確実に作動することを確認してから、システムを起動してください。

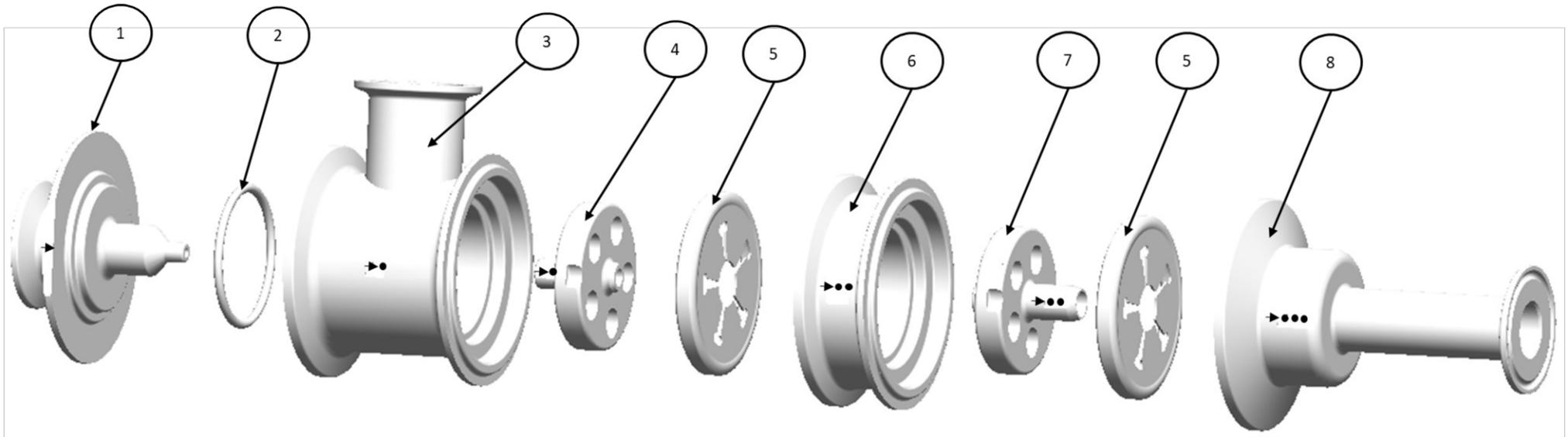
- ⚠ 注意**
 - エジェクタの落下による怪我や機器の破損の無いようにお取扱ください。
- 配管**
- ⚠ 注意**
 - 真空口、排気口の配管が細すぎると配管抵抗により十分な吸込み量が得られない為、配管内径を細くすることは避けてください。又、エルボ配管なども性能低下の要因になる為、極力避けてください。
 - 配管する前には配管内を十分洗浄して配管内の異物を除去してください。
 - 誤配管をしないでください。圧縮空気の供給口、吸込口、排気口を間違えない様に配管してください。

- 保守点検**
- ⚠ 注意**
 - 保守、メンテナンスの場合は圧縮空気が供給されていないことを確認してからとしてください。
 - 空気の質を維持する為に、エアフィルタのドレン抜きを定期的実施してください。
 - 容易に分解、組立て及び洗浄が可能な構造となっております。必要に応じて洗浄を行い、清潔な状態を保ちご使用下さい。
 - エジェクタの落下による怪我や機器の破損の無いようにお取扱ください。

主要部品一覧		
No.	名称	材質
1	ノズル及び供給部	SUS304
2	Oリング	食衛法対応 シリコン
3	真空配管	SUS304
4	1st ディフューザ	SUS304
5	逆止弁	食衛法対応 シリコン
6	ディフューザ部配管	SUS304
7	2nd ディフューザ	SUS304
8	3rd ディフューザ	SUS304
9	クランプ	SUS304

構造図





【分解手順】

・3つのクランプを外すことで、全ての部品が分解できます

【組立手順】

- ・①に②をはめ、③に挿入し、クランプで固定して下さい
- ・④の凹部に⑤の凸部を合わせ、③に挿入、⑥を被せてクランプで固定して下さい
- ・⑦の凹部に⑤の凸部を合わせ、⑥に挿入、⑧を被せてクランプにて固定して下さい

- ★金属部品には全て矢印が付いていますので、矢印の向きを統一させて下さい
- ★矢印の前の点マークの数は組み合わせる順番を示しています
- ★点マークの数が同じ部品同士で合わせて下さい、
点マークが増える時は 間に②又は⑤のゴム部品が入ります

- 1: ノズル及び供給部(SUS304)
- 2: Oリング(食衛法対応 シリコン)
- 3: 真空配管(SUS304)
- 4: 1st ディフューザ(SUS304)
- 5: 逆止弁(食衛法対応 シリコン)
- 6: ディフューザ部配管(SUS304)
- 7: 2nd ディフューザ(SUS304)
- 8: 3rd ディフューザ(SUS304)
- 9: クランプ(SUS304)

